

情緒豊かな 歴史と文化のまち ～向日市～



●向日市の概要

向日市は、京都盆地の西南部に位置し、南部は長岡京市、残り三方は京都市に囲まれた、市域面積 7.67平方キロメートルの小さな市です。

奈良時代後期に長岡京の都として日本の政治の中心となった本市には、長岡京大極殿跡や築地跡をはじめとした、当時の都の遺跡が数多く存在します。

また、最高級の風味と軟らかさをもつたけのこが生産されている竹林も見どころの一つであり、竹の枝を約 1.5メートルの高さで束ねて並べた「竹穂垣」を竹林道の両側に設置した「竹の径」は、情緒豊かな風情を演出するものとなっております。

●国保の概況

平成24年度末における向日市国民健康保険の加入被保険者数は、本市人口 53,454人の約 25.6%にあたる 13,674人となっており、4人に1人の市民の方が加入していると言えます。過去2年の加入率と比較すると、世帯数・被保険者数ともにやや増加傾向にあります。また、各年度末時点の被保険者数を年代別にみると、50代の加入率が 9%強であることに比べて、60代以降の加入率が 53.5%であることから、60代以降の被保険者だけで全体の5割以上を占めていることが分かります。

【国保被保険者数の動向(各年度末現在)】

(単位:人、%)

年度	向日市		向日市国保		加入率	
	世帯数	人口	世帯数	被保険者数	世帯	被保険者
22年度	21,328	54,122	7,952	13,701	37.3%	25.3%
23年度	21,315	53,765	8,016	13,725	37.6%	25.5%
24年度	21,393	53,454	8,059	13,674	37.7%	25.6%

【年代別被保険者数および全体比率(各年度末現在)】

(単位:人、%)

年度	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～74歳
23年度	647	760	872	1,389	1,407	1,313	7,337
比率	4.7%	5.5%	6.4%	10.1%	10.3%	9.6%	53.5%
24年度	646	769	831	1,363	1,482	1,269	7,314
比率	4.7%	5.6%	6.1%	10.0%	10.8%	9.3%	53.5%

向日市の被保険者一人当たり医療費は、平成22年度で 299,169円、23年度で 275,408円、24年度で 283,164円と、毎年京都府の平均を大きく上回っています。

【被保険者一人当たり医療費(3～2月診療分)※現物給付のみ】

(単位:円)

年度	全体			65才以上(再掲)		
	向日市	府平均	差額	向日市	府平均	差額
22年度	299,169	244,861	54,308	464,000	413,060	50,940
23年度	275,408	251,125	24,283	430,435	412,648	17,787
24年度	283,164	256,255	26,909	409,191	413,326	-4,135



●医療費適正化について

医療費適正化の取組として、レセプトおよび資格点検を強化するほか、柔道整復師施術やはりきゅう、あん摩マッサージ等療養費の不正請求が相次いでいることを受け、平成24年度には、頻繁かつ継続して利用している被保険者に対して負傷原因等をたずねるアンケート調査を実施し、施術の内容が保険適用の範囲であるかの確認を行いました。また、保険適用の範囲を周知徹底するために、「柔道整復師等の正しいかかりかた」を記載したパンフレットを、平成25年度より新たに配布する予定です。

●収納対策について

向日市では、主な取り組みとして特別収納強化月間を設け、夜間・休日における収納及び納付相談等を行うとともに、滞納世帯に臨宅訪問等を実施しています。その期間以外についても、臨宅の徴収嘱託職員が滞納世帯を訪問し、収納率の向上に努めています。

また、平成24年度からの取り組みとして、納付者の利便性の向上を図るとともに、収納率向上対策の一環として、コンビニ納付を開始しました。その結果、現年度分国保料の収納率は、平成23年度から24年度にかけて、やや上昇しています。

さらに、口座振替の啓発として、決定通知書の送付時に口座振替依頼書を同封するほか、平成25年2月からはペイジーの受付も開始し、口座振替納付の促進等を図っております。

【国保料収納状況（現年度分）】

年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
収納率	92.33%	91.84%	91.41%	91.41%	92.63%

●保健事業について

まず最初に挙げられるのは、40歳以上75歳未満の被保険者を対象とした、人間ドックおよび脳ドックの受診費用補助です。半日ドックの費用額を7割補助しております。補助定員の枠は設けず、指定期間内に申請のあった対象者全員が補助を受けられるようになっています。平成20年度と比較すると、受診者は現在増加傾向にあり、平成24年度は人間ドックで396名、脳ドックで231名の申請がありました。また、受診者の利便性の向上を図るため、少しずつ取扱医療機関を増やしています。

【人間ドック・脳ドック受診者数等】

(単位:人)

年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
人間ドック	210	334	309	363	396
脳ドック	167	290	254	228	231
取扱医療機関数(人間/脳ドック)	4/4	4/4	6/6	6/6	9/6

○特定健診

特定健診は毎年7月から10月にかけて、人間ドックの補助対象者と同様の被保険者に対して実施しています。受診率向上に向けては、対象者全員に受診券を送付するほか、受診の機運を高めるため、健診期間中に年2回広報にて啓発も行っています。また、未受診者対策として、受診勧奨状の送付や過去一度も受けていない方に受診勧奨訪問を行ってきました。平成25年度は、64歳以下の受診率が低いことから、健診通知の封筒に気づいてもらえるよう「あなた、適齢期」(特定健診)と書いたシールを貼って郵送し、若い世代の受診率向上に取り組んでいます。

【特定健診受診者数等】

(単位:人、%)

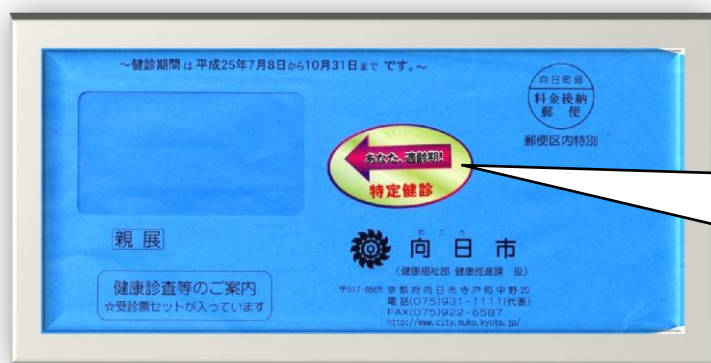
年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
受診対象者数	9,658	9,758	10,009	10,131	10,190
受診者数	3,879	4,030	4,013	4,192	4,423
受診率	40.2%	41.3%	40.1%	41.4%	43.4%

特定保健指導の利用率向上では、対象者に対する個別通知や健診実施医療機関でのチラシの配布、電話による勧奨などを行っています。利用しやすい工夫として、教室方式と個別相談方式が選択できるようにしています。教室方式では、健診結果の見方や食事についての講座を中心に、500kcalのバランス食の提供や健康増進施設の利用券(4回分)の提供も行ってきました。さらに平成25年度は、健康増進施設の利用券(4回分)の提供の代わりに、もっとたくさんの方が気軽に参加できる運動教室として、ウォーキング教室を実施する予定です。

【特定保健指導受診者数等】

(単位:人、%)

年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
保健指導対象者数	507	443	427	472	459
受診者数	124	58	58	98	177
受診率	24.5%	13.1%	13.6%	20.8%	38.6%



※乙訓国民健康保険事務協議会作成